



# 南中だより

令和7年12月4日発行

No. 17

沼田市立沼田南中学校

【学校教育目標(具体目標)】「英知」「礼節」「強健」

【自己を磨き、他に尽くす 尽くされたら感謝の気持ちを表そう】

## 小学生を町案内! (11月25日)



第1学年では総合的な学習の時間に沼田市の歴史や文化について学習しています。今年度も調べたことを生かして、沼田小学校の3年生を町案内することができました。昨年同様に講師の高山正先生(元歴史資料館館長)にお願いして現地でレクチャーしていただきました。当日は、班ごとに分かれて歴史にかかわる説明をしながら市内を巡りました。小学生から「いろいろ知ることができた。」と感想があり、小中連携のよさが表れたと思います。人に教えることの大切さと自分自身の学習の深まりを体験できたことでしょう。丁寧にわかりやすく説明してくれた第1学年の皆さん、大変立派でした。



わかりやすく話す様子



小学生に丁寧な説明



大切な水路について

## 人権学習会 (12月3日)

本校では12月1日から10日を人権週間と位置付けて人権について考える機会を設けています。今年度はパラスポーツで活躍されている大谷様を講師にお招きして障がい者スポーツについて学びました。講話や競技用車椅子での体験を通して一人一人がいろいろな気づきや感想をもつことができました。

その他にも学校集会での人権学習や標語づくりなどによって意識を高められたと思います。これからも誰もが人権を尊重し合い、多様性を認め合うことで、しあわせを実感できる社会を目指していきましょう。

【講話を一部抜粋】

「他人事」から「自分事へ」

よく知らない障がい者のことを「理解しろ」とか「親切にきなさい」とか

そんなこと言われても、そもそもどうすればいいかわからない… 「他人事」(きれいごと)のままでも、楽しいことだったら一緒にやってみてもいいかな…と思いませんか?

じゃあどうすればいい?

★お互いを知るための交流(同じ時間・空間の共有)

★その交流が楽しく持続可能なものであることが必要

パラスポーツはそのツールの一つになり得る! \*このあと競技用の車椅子体験でした



講師の大谷 颯さん



操作が難しい様子



楽しみながら体験